



やなぜ苑開設 30周年
yanaze-en 30th Anniversary

特別養護老人ホーム やなぜ苑

やなぜ苑開設30周年記念誌

やなぜ苑開設 30周年記念誌

yanaze-en 30th Anniversary

歩み Vol.3 - 新たな時代に向けて -



社会福祉法人 砺波福祉会
特別養護老人ホーム やなぜ苑

目 次

基本方針	2
ごあいさつ・特別寄稿	3
「やなせ苑」開設30周年を迎えて	4
理事長 齊藤和芳	
開設30周年を祝して	5
砺波市長 夏野修	
30年の歴史	7
各部所紹介	23
ホームBC棟	24
ホームD棟	26
ホームE棟・ショートステイ	28
医務室	30
栄養室	31
やなせ苑在宅介護支援センター	32
居宅介護支援事業	33
やなせ苑デイサービスセンター	34
砺波市庄東デイサービスセンター	36
事務局	38
地域と共に	39
地域の方に支えられて	40
地域の方と共に学ぶ	42
地域の方との支えあい	43
そして地域の方に ありがとう	44
委員会活動	47
管理運営委員会	48
労働安全衛生委員会	49
サービス向上委員会	49
広報情報委員会	50
リスクマネジメント委員会	50
認知症ケア向上委員会	51
リハビリ福祉機器委員会	51
看取り介護委員会	52
行事委員会	52
食事口腔委員会	53
入浴排泄委員会	53
活動の紹介	55
四季のアルバム	56
研究レポート	60
やなせ苑の紹介記事	61
資料	63
法人組織・歴代役職員	64
現役員・施設平面図	65
各種統計	66
編集後記	71

基 本 方 針

1. 私たちは、利用者の人権を最大限に尊重します。
1. 私たちは、利用者の人間性及び自主独立心を尊重し、その助長支援に努めます。
1. 私たちは、利用者の心身の健康保持増進に努めます。
1. 私たちは、施設を利用者の社会生活の場として位置付け、安全で安心した日常生活が享受できる環境づくりに努めます。
1. 私たちは、利用者の多様化するニーズに応えながら、明るく楽しい環境づくりに努めます。
1. 私たちは、地域社会の福祉施設として活用されるよう能力を提供し、地域福祉の中核拠点的役割を果たすよう努めます。
1. 私たちは、職員相互信頼のもと常に研鑽と人格陶冶に努め、利用者の自尊心を損なうことなくその社会生活の協力実践者としての責任と自覚を持つことを本旨とします。

30
ごあいさつ・特別寄稿

「やなせ苑」開設30周年を迎えて

理事長 齊藤和芳

開設30周年を祝して

砺波市長 夏野修



ごあいさつ

「やなせ苑」開設30周年を迎えて



理事長 齊藤 和芳

庄川の清流が育んだ稻刈り後の散居村にも、秋色がいよいよ濃くなってまいりました。早いもので、今年で特別養護老人ホーム「やなせ苑」は、開設から30周年の節目を迎えることができました。これもひとえに、利用者さま、ご家族さま、役職員をはじめ、ボランティア、地域の皆さまのご理解とご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、介護保険制度は平成12年4月にスタートしましたが、それより以前の平成3年4月に開設した特別養護老人ホーム「やなせ苑」（デイサービスセンター含む）は、措置から契約へと移行し、個人との契約による新しい制度のもと、利用者から選ばれる福祉サービスとして取り組んでまいりました。

その間、平成7年4月には、庄東デイサービスセンターを運営するとともに、平成8年には定員50床で開設した特養ホームを80床に増床し、さらに平成30年には100床へと増床いたしました。

また、常に100人近くの特養ホーム入所待機者の改善策として、平成25年には新館の整備を行い、ショートステイの定員を40床としたところであります。

しかしながら、急速な少子化の波は、介護現場でも大きな影響を及ぼし、介護職員の人手不足が課題となっております。その解決策としては、ICT（情報・通信・技術）の活用やロボットの導入並びに外国人材の活用等が叫ばれておりますが、まだまだ抜本的な改善には至っておらず、特養ホームやショートステイの定員を一部縮小して運営している状況であります。

さらには、一昨年末から流行が始まった新型コロナウイルスの感染拡大を受け、さまざまな感染対策が必要となり、重症化リスクの高い高齢者をケアする介護施設としては、これまでにない重大な局面を迎えております。

そのような中、介護現場で働く職員は、介護サービスを利用される皆さまが笑顔で楽しく過ごせる環境づくりを目指し、職員一丸となって感染予防に努め、介護業務に日々奮闘しているところであります。

また、ボランティアの皆さまには、開設当初から多くの暖かいご支援をいただいております。現在は、新型コロナウイルスの影響で活動を見合わせていただいておりますが、当施設の運営には欠かすことはできず、深く感謝申し上げる次第であります。

また、地域の関係者の方々のご協力のもと平成19年から実施しております「やなせ苑まつり」につきまして、ご利用者の皆さまやご家族、そして地域の皆さまとの交流ができるまたない機会であり、一日も早く再会できることを願うものであります。

今年は、57年ぶりの東京オリンピックの開催という明るいニュースもありましたが、まだまだコロナ禍からの脱却はむずかしそうであります。そのような中、当施設は地域の皆さまに信頼される介護施設として、一歩一歩着実に介護事業を進めてまいる所存でありますので、今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

特別寄稿

開設30周年を祝して



砺波市長 夏野 修

特別養護老人ホーム「やなせ苑」が開設30周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

平成3年に開設されましたやなせ苑は、開設以来、きめ細かなサービスの提供に努力を重ねられるとともにボランティアも数多く受け入れられるなど、地域の方々にも信頼され親しまれる福祉施設として、また、平成25年には特別養護老人ホームやショートステイの増改築工事を完成するなど、本市の高齢者福祉の中核的な施設として大きな役割を担われ、今まで高い評価を得てこられました。

この間、運営に尽力されました関係者の皆様や、特に昼夜を問わず介護に取り組まれている職員の皆様の永年にわたるご尽力に、心から敬意を表する次第であります。

さて、わが国の高齢者人口は、「団塊の世代」の皆様が後期高齢者となる令和7年には高齢化率が30.0%に達すると見込まれております。その後も高齢者人口は増加を続け、団塊ジュニア世代が前期高齢者となる令和22年頃には高齢者数がピークを迎えると推計されております。

一方、本市の高齢者人口は、令和3年3月末現在で14,449人であり、県内他市町

村と比べて低いものの既に高齢化率は30.2%となっております。今後、ひとり暮らし高齢者をはじめ要介護認定者や認知症高齢者は増加することが見込まれており、介護が必要になっても住み慣れた地域で、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合い支えあう共生社会の実現に向け、「地域包括ケアシステム」のさらなる推進を図っていくことが求められております。

現在、未曾有の危機とも言える新型コロナウイルスに翻弄され、感染拡大により当たり前の日常が一変し、新しい生活様式へと変化を余儀なくされております。まだまだ予断を許さない状況が続きますが、一日も早いコロナ収束を願いつつ、今後とも地域の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる共生社会の実現を目指して取り組んでまいりたいと存じますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、「やなせ苑」のますますのご発展と関係の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

やなせ苑ギャラリー



画名 ガンガ

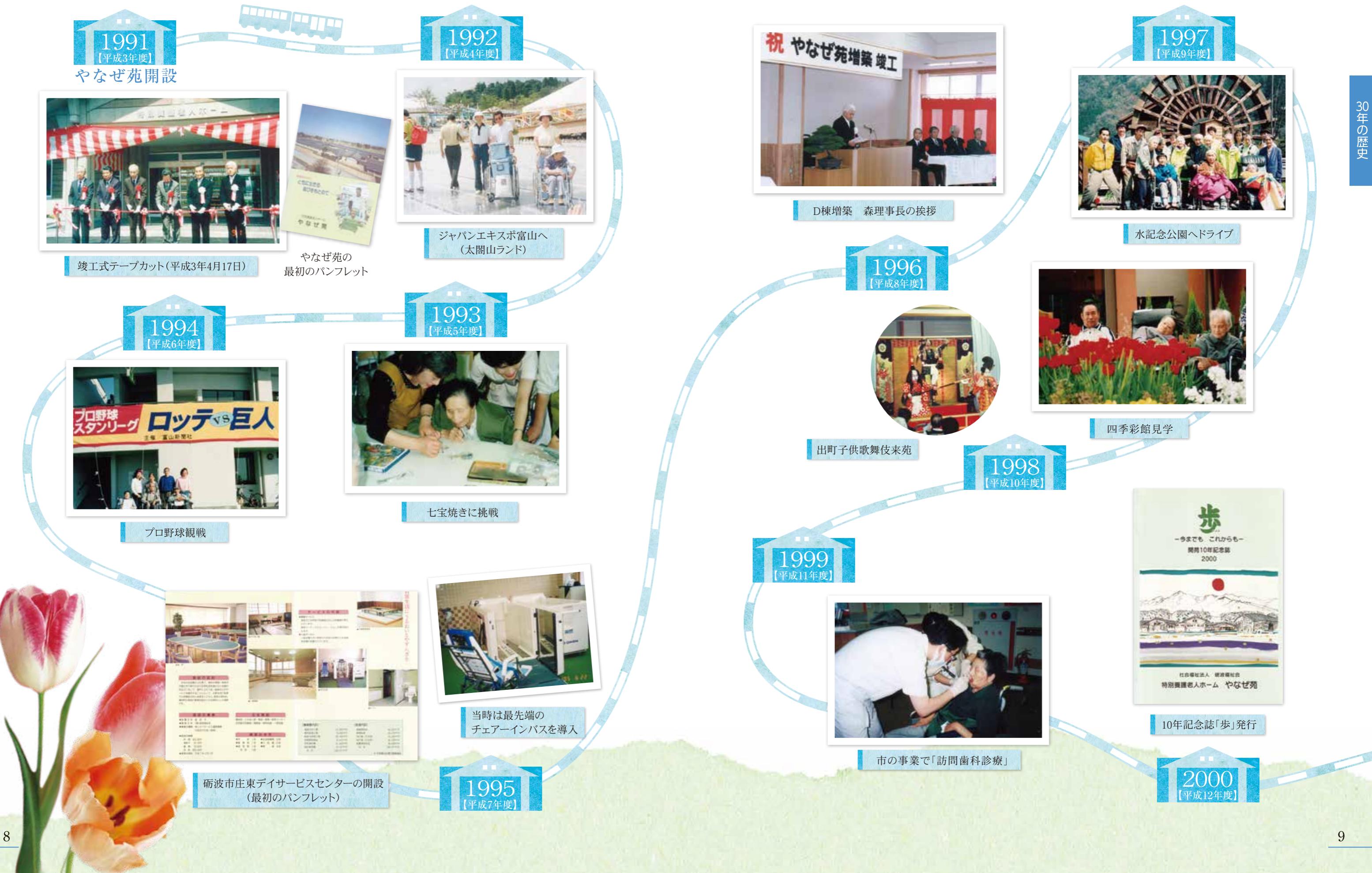
作家 林 清納

300

30 年の歴史



1991【平成3年度】～2000【平成12年度】



2001【平成13年度】～2010【平成22年度】



《イメージテーマ》
信頼と安心の「やなせ苑」

Trust and Peace of mind Yanaze-en



2011【平成23年度】～2012【平成24年度】

2011

【平成23年度】



初釜



祝開設20周年記念式



開設20周年記念式



庄川水記念公園 足湯



ガールスカウト訪問

【砺波福祉会の出来事】

- ・東日本大震災 被災者支援活動
 - 「介護支援（5名派遣）」
 - 「義援金支援（139,050円）」
 - 「物資支援（紙オムツ14箱）」
- ・施設内の壁クロス張替え・照明器具更新工事
- ・富山県 子育てサポート企業認定
- ・こころちゃん劇団始動



しその葉つみ



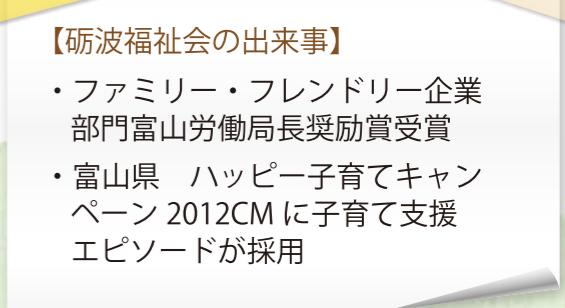
節分



外食ツアー



外食ツアー



【砺波福祉会の出来事】

- ・ファミリー・フレンドリー企業部門富山労働局長奨励賞受賞
- ・富山県 ハッピー子育てキャンペーン 2012CMに子育て支援エピソードが採用

2013【平成25年度】～2014【平成26年度】



新館増改築事業による多門取り壊し工事



新館増築事業竣工記念式典

2014
【平成26年度】

スーパーにて買い物ツアー



夢の平 コスモスウォッキング



新館増築



新厨房



おやつ作り



夏祭り



静養室



現在のパンフレット

【砺波福祉会の出来事】

- ・新館増改築事業竣工
- ・女性が輝く元気企業とやま賞受賞

【砺波福祉会の出来事】

- ・砺波市 ワークライフバランス推進優良企業「ファミリー・フレンドリー賞受賞」
- ・介護の日 福祉・介護イメージアップ事業 CM 出演
- ・富山県 イクメン・カジダン応援プロジェクト 職員紹介
- ・富山県 魅力ある中小企業ガイド 女性が働きやすい会社 職員紹介

2015【平成27年度】～2016【平成28年度】



林清納様絵画受贈



14歳の挑戦



パン食い競争



やすんごとのもちつき



買い物ツアーア



三世代交流 七夕まつり



柳瀬地区の獅子舞

【砺波福祉会の出来事】

- 富山県 煌めく女性リーダー塾に参加



送迎車受贈



風船バレー



お雛様作り



流しそうめん



理容・美容専門学校の学生さんによるマッサージ



般若幼稚園 交流会

【砺波福祉会の出来事】

- 砺波市庄東デイサービス（福祉避難所）
砺波市総合防災訓練参加
- 富山県 男女共同参画推進事業所認定
- 社会貢献自動販売機『夢の貯金箱』設置
- 地域公益活動『お弁当事業』開始

2017【平成29年度】～2018【平成30年度】



おやつ作り



庄川水記念公園



桜満開 お花見



初釜

2017
【平成29年度】

年忘れ会

2018
【平成30年度】

富山県地域包括ケア推進県民フォーラムに出演



庄西中生徒 自作パネルの展示



スイカ割大会



砺波市庄東デイサービスリフレッシュ工事

【砺波福祉社会の出来事】

- ・社会福祉法人制度改革
- ・やなせ苑デイサービス（福祉避難所）
砺波市総合防災訓練参加
- ・砺波市社会福祉法人連絡会加入

【砺波福祉社会の出来事】

- ・やなせ苑デイサービス 認知症対応型通所介護事業休止
- ・全国老人福祉施設協議会 東海北陸ブロック研究大会にて
『やなせ苑経口維持の取り組み』の実践事例発表

2019【令和元年度】～2020【令和2年度】



頼成の森 花しょうぶまつり



採れたて野菜を料理に



野菜の苗植え



35年ぶりの大雪



有志による RUN伴 参加



野菜の脇芽とり



やなせ苑まつり代替行事



花嫁のれんを展示

理容美容専門学校による
マッサージ&メイクアップ

懐かしい生活民具や農機具の展示



移動スーパーとくしまで買い物

【砺波福祉会の出来事】

- ・『事業場におけるメンタルヘルス対策の取組事例集(厚生労働省)』にやなせ苑の取り組みが掲載
- ・健康増進法施行 敷地内禁煙

【砺波福祉会の出来事】

- ・職員勤怠管理システム導入
- ・『とやま健康企業宣言』STEP 1認定
- ・B棟陸屋根防水工事施工
- ・玄関に顔認証温度検知システム導入

やなぜ苑ギャラリー



画名 S 嬢

作者 川邊 外治

300

各部所紹介

特別養護老人ホーム
BC棟
D棟
E棟・ショートステイ
医務室
栄養室

やなぜ苑在宅介護支援センター
居宅介護支援事業
やなぜ苑デイサービスセンター
砺波市庄東デイサービスセンター
事務局



》ホームBC棟《

私たちは『利用者さまの心身に寄り添い、利用者さまが望む生活を支えるケアの提供』という方針のもと、各担当職員が中心となり日常生活や身体状況などを把握し、看護職員や施設ケアマネジャー、各部所との連携を図りながら、チームケアで生活の支援をしています。

具体的な計画として

【あたたかみのあるケアの実施】

「待たせない」を念頭に利用者さまの要望に対応します。すぐに対応ができない場合は説明をし、利用者さまが納得され安全が確保できるよう対応しています。

【利用者さまの持っている力や社会資源を活用し、望む生活を支援】

利用者さまの望まれる生活の実現のために、生活歴、習慣を意識してアセスメントを行い、残存機能を活かした介護・個別活動の提供に努めています。

【利用者さまや職員の心身の安全を守るケア】

身体状態にあった福祉機器を提供し、介護方法も検討します。職員は、積極的にコミュニケーションを図り、チームで問題を解決しています。

毎月の誕生会や季節感を楽しむことができる行事を企画・実施し、職員も一緒に楽しく参加するなど、生活意欲、心身機能、社会性の維持向上に努めています。

また、看取り介護の充実を図り、人生の最後まで穏やかに過ごせるよう、ご家族と向き合った介護を実践しています。



朝の健康体操



口腔体操



外へ散歩



食事介助



タオルたたみ



個別活動「習字」

日常



家族の面会



オンライン面会

行事



ゴーヤ植え



生け花にチャレンジ



桜の塩漬け作り

》ホーム棟〈

私たちは『利用者さまの心身に寄り添い、利用者さまが望む生活を支えるケアの提供』という方針のもと、利用者さまの生活歴に基づき、ご家族との交流を持ちながら、より良いケアの提供に努めることを目標に、生活の支援をしています。

具体的な計画として

【利用者さま個人の生活支援】

安全で安心して過ごせるよう、利用者さまに寄り添い、チームでケアにあたり、生活上の起こりうるリスクの軽減と予防に努めています。

【個々の望みや回想法を取り入れた活動を支援】

利用者さまの生活歴を把握し、季節感を取り入れた潤いのある生活が送れるような活動や環境の整備、残存機能を活かしながら楽しめる活動の提供に努めています。

【職員の資質の向上】

一人ひとりが自覚と責任を持ち、常に質の高いサービスが提供できるように努めています。

利用者さまのそれぞれの生活リズムとその生活の個別性を大切にすることを心がけています。



田植え



稲縛り



のんびり畠仕事

行事



漬物作り



クリスマス会



運動会
「パンくい競争」



お菓子作り

施設ケアマネジャー

私たちは、利用者さまの一人ひとりが、質の高い自立した生活を送れるよう介護サービス計画書を作成し、その調整や管理を行っています。

「利用者さまを理解すること」「利用者さま・ご家族の“思い”を代弁すること」「利用者さまの“語り”に耳を傾けること」を大切にし、利用者さま、ご家族、多職種をつなぐコーディネート役として、日々努めています。

ケアカンファレンスでは、多職種で情報の共有や共通理解を図り、問題の解決に向けて検討します。介護職員や看護職員、栄養士など、互いの専門性を活かし、より深い学びや気づきを得る良い機会にもなります。

『ケアプランは道しるべ』です。統一した援助の提供に努めることで、利用者さまに日々安心した生活を送っていただくことができます。

これからも多職種連携し、チームケアを実践していきます。
全ては利用者さまのために。



将棋
「真剣勝負!!」



笑顔が素敵

》ホームE棟・ショートステイ〈

私たちは『安心とぬくもりのあるケアの提供』という方針のもと、利用者さまやご家族に安心してサービスを利用していただけるよう、普段の生活状況を踏まえたケアプランを作成し、それに基づくサービスを提供しています。

また、ショートステイをご利用していただくことでご家族の負担も軽減しながら、みんなが笑顔でいられるよう、より良いケアの提供に努めています。

具体的な計画として

【残存機能維持に向けての支援】

集団レクリエーションの他、個人の特性に対応できるよう趣味的活動も多様化し、楽しく残存機能が維持できるように努めています。

【笑顔につながるケアの提供】

施設生活での不安解消と生活意欲の向上を目的とした行事などを行い、笑顔につながるケアの提供に努めています。



健康チェック



体操の時間



居室のお掃除



お散歩

日常



送迎



気持ちいい入浴タイム



行事



梅干し作り



誕生会



お正月を満喫

》医務室《

私たちは、利用者さまの心身の安定を図る事を目的とし、日々、健康管理や予防、異常の早期発見に努め、嘱託医・他職種との連携を図り、観察や状態に応じた対応、処置を行っています。

◎主な業務

【嘱託医の診察】

当院の嘱託医は、かねきホームクリニックの金木昌弘医師です。
毎週土曜日が往診日で、利用者さまの健康状態を診ています。

【健康管理】

バイタルサイン・体重・食事・排泄状態のチェック、観察、看護記録

【医療的処置】

褥瘡・創・点眼処置、観察、胃ろうからの栄養注入、カテーテル管理、採血・吸痰・在宅酸素管理

【診療補助及び薬剤・薬品の管理】

薬の作用や副作用の認知、薬の準備と確認、嘱託医との連携

【ケアプランに基づくケアの提供】

医療のアセスメント、チェック

【ご家族及び多職種との連携】

ご家族・介護職員・介護支援専門員・栄養士・相談員・関係機関等との連携

【リハビリの実施】

リハビリプログラムの実施・評価

【その他】

感染予防対策や人材育成(資格取得への取り組み)、実習の受け入れ



金木医師の診察



吸痰処置

【看取り介護の取り組み】

特別養護老人ホームでは、生活の延長線上に看取り介護（ターミナルケア）があります。利用者さまの状態変化を逃さず、医師・介護職員と連携を図り、家族への連絡・説明、確認等を行っています。看護職員として、利用者さまが「尊厳ある最期のとき」を迎えることができ、また、ご家族の利用者さまに対する思いが取り残されないよう支援しています。

》栄養室《

私たちは、利用者さまにおいしく、残さず食べられる食事の提供ができるよう、柔らかく食べやすくなる調理法を研究し、体調に応じた食形態で提供するなど、利用者さまの食事づくりに努めています。

開設当初から愛情をこめて食事づくりを行ってきた厨房を、平成25年の秋に新館に移設し、IH調理器、急速冷却機、温冷配膳車等最新設備の導入、空調設備を整えました。衛生面・適時適温・職員の体調の各方面で、今までよりも良い環境で調理作業を行っています。

◎主な業務

【調理員】

安全でおいしく、利用者さまの体調にあった食べやすい食事の提供
新鮮で旬な地元食材を使用した食事づくり

【栄養士・管理栄養士】

給食管理(季節感や行事食を盛り込んだ献立作成および発注業務)
栄養マネジメント(経口維持の取り組みやミールラウンド(多職種による食事の観察と評価)、カンファレンスの実施)



調理の様子



盛り付けの様子

～利用者さまが喜ぶ顔を想像しながら、これからも協力し合っておいしい食事を提供していきます。～



常食



ソフト食

》やなせ苑在宅介護支援センター〈

私たちは、地域の皆さまが、住み慣れた地域でいつまでも元気に安心して暮らすことができるよう総合相談窓口を開設し、地域に開かれた事業所となるよう努めています。

◎主な業務

【総合相談】

地域の皆さまの健康に関することや介護予防、介護等の相談に応じています。また、必要な方には、医療・保健・福祉サービス、地域の活動の場などの社会資源の紹介や手続き等のお手伝いをしています。

【お元気確認訪問】

地域の高齢者さまの自宅を訪問し、元気で過ごすための秘訣や健康のアドバイス、相談窓口の紹介等を行っています。

【地域の集いの場の支援】

地域の皆さまの集いの場(百歳体操の会場やいきいきサロン、高齢者学級など)に出向き、体操の継続支援や介護予防、介護等の出前講座を行っています。

【地域づくりの支援】

地域の困り事や課題等について、地域住民や各関係機関と連携し課題解決の協力をしています。また、小学校や中学校等への出前講座を行い、福祉教育の推進に努めています。

～地域サロン・出前講座～



介護予防の講座



いきいき百歳体操



転倒防止の講座



地域での栄養講座

》居宅介護支援事業〈

私たちケアマネジャーは、地域で暮らしている方が要介護状態となった場合でも、住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、自立支援を基本に利用者本位のサービス提供や総合的な相談援助を行っています。また、各関係機関等との連携を密に行い、利用者さまにとって必要なサービス提供が行われるよう支援しています。

◎主な業務

【相談受付】

利用者さまの自宅を訪問し、身体状態や生活状況、今後の希望、困りごと等をお聞きします。

【ケアプランの立案】

利用者さまやご家族の状況や希望を踏まえ、解決方法を利用者さまと一緒に考え、目標の設定や支援方法を検討しケアプランを作成します。

【サービス担当者会議】

利用者さまとご家族、介護サービス提供事業者の担当者、主治医等の関係者が出席し、利用者さまが自分らしく日常生活を送ることができるよう、みんなで考えます。

【モニタリング】

ケアプランに基づき介護サービスが適切に提供されているかどうか、月1回利用者さまの自宅を訪問し、ケアプランの確認・見直しを行っています。また、介護方法や生活環境の見直しなどのアドバイスを行っています。

【医療との連携】

かかりつけ医や入院先の医療機関、訪問看護等の多職種と連携し、支援に活かしています。

【給付管理】

利用者さまには、計画どおりサービスが提供されているか確認し、サービス事業者には介護費が適正に請求されているかを毎月確認しています。



サービス担当者会議



自宅訪問



電話にて相談対応

》やなせ苑デイサービスセンター〈

私たちは、要介護・要支援の認定を受けられた方に、心身機能の維持及び向上を目的として、入浴や食事、機能訓練などのサービスを提供しています。

利用者さまが普段行なわれていることはそのままに、身体の都合でできないことを少しだけお手伝いするなど「日常の生活」を支えています。

介護予防のための体操や、認知症予防のための脳トレなどを行い、住み慣れた地域での在宅生活が継続できるように努めています。

また、介護保険の通所介護事業の他に障害者(児)等が利用可能な「基準該当障害福祉サービス」も実施しています。

具体的な計画として

【安全、安心に過ごすことができるデイ】

新型コロナウイルスなどの感染症対策を徹底し、安全に安心して利用していただけるよう努めています。その方の状態にあった適切な介護を提供し、心身機能の維持・向上に繋がるよう努めています。

【選択肢のあるデイ】

利用者さまの多様化するニーズに合わせた個別活動が選択できるよう努めています。

【地域との連携のとれるデイ】

関係機関と連携し「出前講座」「介護教室」等をとおして、在宅福祉の推進を図っています。

日常



デイ浴室

様々な団体の訪問

散歩

～季節の行事など～



運動会



年忘れ会



節分



お花見ドライブ

砺波市庄東ディサービスセンター

私たちは、平成7年4月から砺波市の委託により、庄東地区を中心に福祉の拠点的役割を担い、利用者さまには、中山間地域においてもその住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう介護サービスを提供しています。また隣接する福祉センターや幼稚園等との交流を図るなど、地域福祉の連携にも努めています。

認知症対応型通所介護事業については、職員は研修等を受講してその専門性を高め、認知症の方が少しでも自立した生活を送ることができるようサービスを提供し、心身機能の維持向上やご家族の身体的精神的負担の軽減に努めています。

また、障害者（児）を受け入れる「基準該当障害福祉サービス」も実施しています。

具体的な計画として

【生活機能の維持・向上】

可能な限りその居宅において自立した生活が継続できるよう、日常生活上の支援及び機能訓練を提供し、心身機能、生活機能の維持向上に努めています。

【ご家族等の身体的精神的負担の軽減】

短時間の利用や予定外の追加利用、延長利用など、様々な理由による利用希望にも可能な限り受け入れできるよう努めています。

【地域との連携の強化】

地元住民や民生委員などからの活動支援をはじめ、庄東センターや幼稚園などの交流、利用者さまや地域住民の意見を施設運営に反映させるための「運営推進会議」の開催など、地域の方との連携強化に努めています。

日常



昼食前の体操



山間部の送迎

～季節の行事など～



春のドライブ



七夕あげ



庄東小学校・訪問



般若幼稚園交流会



獅子舞



流しそうめん



年忘れ会



年忘れ会



年忘れ会



新年会



新年会



節分

》事務局〈

私たちは、利用者さまとご家族が安心して介護サービスの利用ができるように、施設の窓口として日々接遇マナーに心掛けています。また、近年ではキャリアパス制度の導入や子育て両立支援など、介護に従事する職員等が充分に能力を発揮できる仕組みづくりや働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

◎主な業務

【施設の経営管理】

予算書や決算書の作成をはじめ、介護サービスの稼働率や介護報酬及び経費などから収支状況を把握し、安定経営に向けた基盤づくりに努めています。

【入所相談、ボランティア受入】

入所の申込受付や入所相談、オンライン面会、ボランティア受付など、施設の窓口としてあらゆる相談に優しく対応しています。

【職員採用、福利厚生】

資格の有無を問わず、元気に働いてもらえる方を随時採用しています。また、職員への看護・介護休暇や育児休業、特別休暇、有給休暇などを充実させ、ワークライフバランスに配慮した健康で豊かな生活が確保できるよう努めています。

【勤怠管理、給与事務】

勤務表に基づき、休暇や超勤、出張、育児休業等を把握し、職員等への給与支払い事務をしています。

【防災訓練、避難訓練】

利用者さまや職員の安全で安心した生活を守るため、年2回訓練を実施しています。



入所などの相談・受付



税理士さんと経営分析



新任職員研修

300

『地域と共に』

地域の方に支えられて
ボランティアの協力

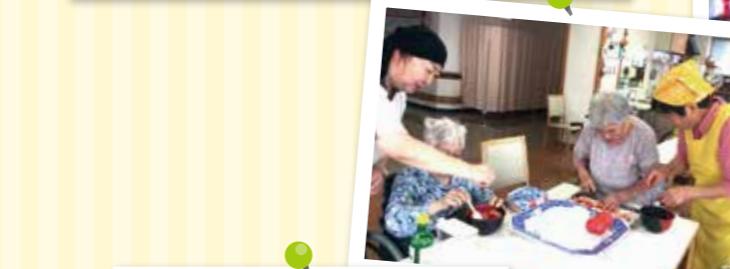
地域の方と共に学ぶ
実習生の受け入れ・学校などへの出前講座

地域の方との支え合い
防災・運営推進会議・法人連絡会・こころちゃん劇団

…そして地域の方に…ありがとう
やなぜ苑まつり



地域の方に支えられて ボランティアの協力



昨年からは新型コロナウイルス感染の影響により、ボランティアの受入れは行っておりませんが、『ボランティア行きたいけど、まだやよね』や、『職員の皆さんも大変でしょうけど頑張ってください』など大変ありがたいお言葉もいただきました。

利用者の皆さまが少しでも豊かな生活を送ることができるように、これからもボランティアのご支援をいただき、地域の皆さんに利用したいと思ってもらえる施設となるよう努めています。

地域の方と共に学ぶ

実習生の受け入れ・学校などへの出前講座

『実習生の受け入れ』

介護福祉士、社会福祉士、准看護師、臨床研修医、調理師、栄養士、職業訓練、市役所新規採用職員、職場体験（14歳の挑戦等）など、多くの方がやなせ苑で学んでいかれました。

実習の目的はそれぞれ違いますが、私たちやなせ苑が伝えてきたことは福祉の『こころ』です。技術や知識を通して、その人の幸せを考えること、実現すること、そのための手段を学んでいただきたい、それに尽きます。

また、私たちとしても実習生を受け入れて学ぶことは、流れていく日々の中で意識していないとなおざりになりがちな『こころ』を振り返るとしても良い機会でもあります。

これからも福祉を目指す実習生を受入れ、お互いに学びあえるよう、お互いが成長できるよう努めています。



『小学校、中学校の出前講座』

地域で生活をするすべての人が、お互いにその存在を認め合い、支え合いながらみんなが幸せを感じられる地域になるよう、児童や生徒にも福祉について学んでいただきたく、福祉の授業や車椅子体験の機会を提供しています。

高齢者とのふれあいや高齢者疑似体験を通して、高齢者の身になって気持ちを考えてみたり、どのような声掛けや配慮をしたらよいのかを考えるなど、少しでも福祉を身近なものに感じてもらえるよう努めています。



地域の方との支えあい

防災・運営推進会議・法人連絡会・こころちゃん劇団

『防災』

火災想定の避難訓練には柳瀬自治振興会、消防柳瀬分団の方にも、毎回参加していただいています。

また、柳瀬地区自主防災会への参加や、福祉避難所としての機能を整備するなど、施設だけではなく地域を支える役割も担っています。

これからも災害に対する準備をし、お互いに支えあえる関係づくりに努めています。



『運営推進会議』

認知症対応型通所介護では、「地域の中で暮らし続ける」ことを支援するために、定期的に運営推進会議を開催しています。

利用者やその家族、地域住民、行政職員等で構成し、事業の運営状況等の報告、提供するサービスの見直し、そして、地域住民のニーズに沿っているのか、地域が何を期待しているのか等を確認できる良い機会となっています。

今後も「地域の中で暮らし続ける」ための支援に努めています。



『砺波市社会福祉法人連絡会』

市内の9つの社会福祉法人が連携し、地域のニーズや課題を受け止め、各法人の特性を活かした、地域づくりに取組んでいます。

私たちもその一員として、介護・福祉に関する相談や出前講座、福祉用具等の貸出しに関する情報提供を行うなど、他の社会福祉法人と共に砺波市の福祉を支えることができるよう努めています。



『こころちゃん劇団』

福祉や介護、健康や介護予防に関する情報を発信し、地域で安心して過ごすことの手助けをしたいと、10年前にこの劇団を立ち上げました。

地域の皆さんと、楽しく、笑いながら学び合い、そして交流を深めることにもつながっています。これからも、劇を通してお互いが学び合えるよう努めています。

…そして地域の方に…ありがとう

やなせ苑まつり

2007年から始まったやなせ苑まつり。

砺波福祉会として、やなせ苑を知ってもらうこと、利用者の方やそのご家族、地域の方々と職員が交流を深めること、そして関係のある方へ感謝の気持ちを込めて楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的に行っている地域交流事業です。

この行事にも、大勢のボランティアや各種団体、地域の方の協力をいただいています。



やなせ苑まつりでは、毎年テーマを決めて実施しています。

- 2007年 《イメージテーマ》 信頼と安心の“やなせ苑”
- 2008年 みんな集まれ!! 地域に開かれた信頼と安心のやなせ苑
- 2009年 ここから未来へ。みんな来て!見て!やなせ苑
- 2010年 つなごう 笑顔の輪!
- 2011年 やなせ苑から元気発信!!
- 2012年 笑顔でつながるやなせ苑 こころ・信頼・地域・家族・人の輪をつくろう



- 2013年 新館増改築事業竣工式典
- 2014年 人と人を 心と心をつなぐ 信頼と安心のやなせ苑
- 2015年 人も心も あったか~い やなせ苑
- 2016年 笑顔満祭! やなせ苑!!
- 2017年 明るい笑来! やなせ苑!!
- 2018年 …荒天により中止…
- 2019年 つなごう手と手 つなごう心の輪
- 2020年 …代替え行事…

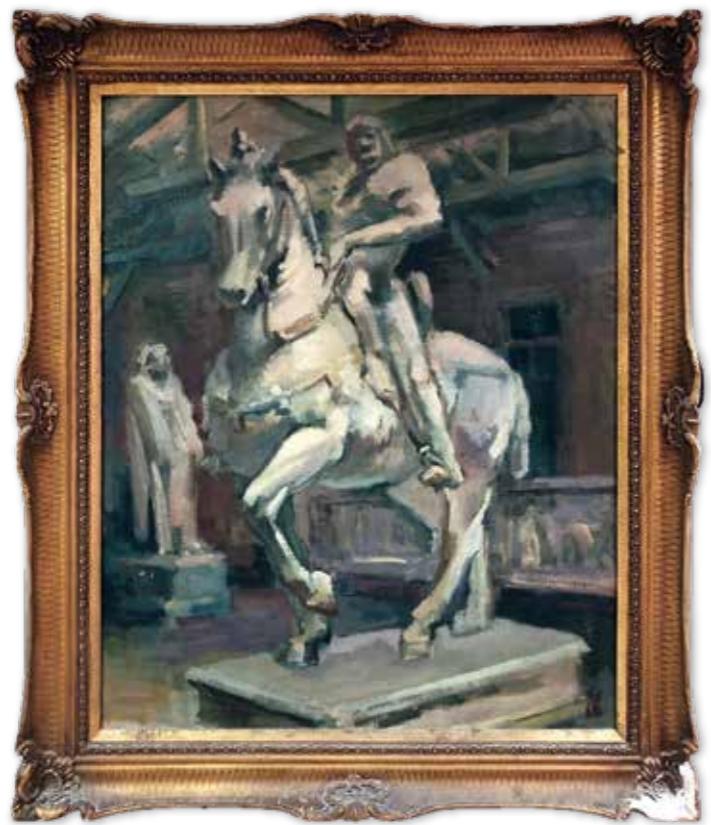
『コロナに負けない!元気が出るお楽しみ会2020』



人のつながり・笑顔・こころ、ですね。
これからも、やなせ苑が、皆さんに支えてもらえるように…



やなせ苑ギャラリー



画名 騎馬像

作者 川邊 外治

300

委員会活動

管理運営委員会
労働安全衛生委員会
サービス向上委員会
広報情報委員会
リスクマネジメント委員会
認知症ケア向上委員会
リハビリ福祉機器委員会
看取り介護委員会
行事委員会
食事口腔委員会
入浴排泄委員会



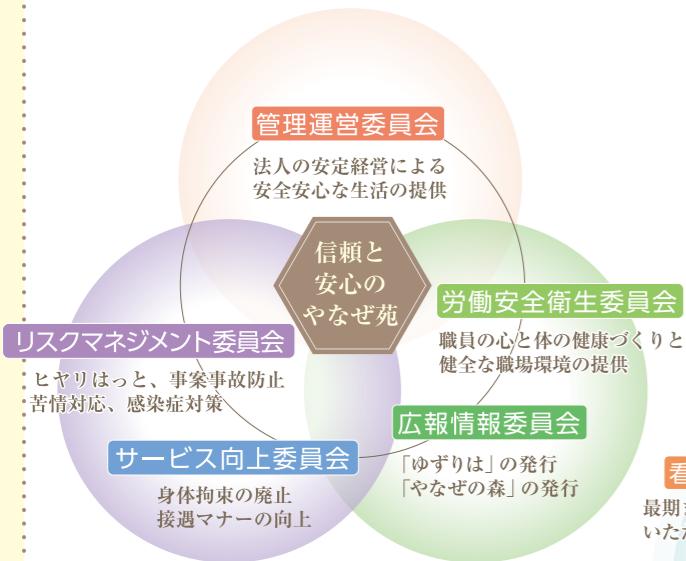
管理運営委員会

『法人の安定経営による安全・安心な生活の提供』

法人本部と各事業所の管理職が月1回集まり、施設や各事業所の経営・管理・運営が適切に行われているか等を協議し、利用者さまやそのご家族、地域の皆さまの意向に沿った良質な介護サービスが提供されるよう、以下のような内容を議題とした委員会を開催しています。

- ・施設全体の収支状況と適正な運営
- ・人件費、光熱水費、消耗品などのコスト管理
- ・職員の人材育成や資質向上に関する研修計画の検討
- ・介護保険事業の届け出や申請に関する協議
- ・事業や行事等に関する企画運営会議
- ・資格取得の奨励と支援

法人の委員会



ホームの委員会



労働安全衛生委員会

『職員の心と体の健康づくりと、健全な職場環境づくり』

人材確保が大きな課題となる中、労働者の立場からの職場環境の改善がさらに必要と考え、平成24年に正式に法人の委員会として設置され、令和3年に丸10年を迎えました。全ての職員が生き生きと働き、それぞれの能力を発揮できるよう取り組んでいます。

- ・危険防止、健康障害の防止、健康状態や意識改善のための調査及び審議
(腰痛予防対策としての職員研修・腰痛予防体操マニュアル作成)
- ・労働者のメンタルヘルス問題に関する検討及び対応
(規程やマニュアル作成・規程を簡略化したフローチャート作成・制度周知のための職員研修・あいさつ運動)
- ・産業医と委員による施設内巡視
(危険箇所の確認など労災予防対策)
- ・職員健康診断及びメンタルヘルスチェックの結果報告、産業医による個人面談の計画及び実施
- ・職員への健康等情報発信としてのリーフレットの発行(隔月)
- ・職員の健康増進活動の推進
(健康食を取り入れたパワーアップランチ・ラジオ体操・となべじの職員研修
ウォーキングイベントなど)



危険箇所の注意喚起



チューリップ公園清掃活動



パワーアップランチ、好評です!

サービス向上委員会

『信頼と安心のやなせ苑の実現に向けて』

私たちは、利用者さまに安心して利用していただくためのサービス提供を目指し、接遇マナーや身体拘束廃止などに取り組んでいます。

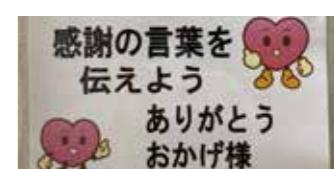
- ・自己評価アンケートの実施(年3回)
(自己評価アンケートにて、業務への取り組み姿勢を振り返り、職員個々の質の向上を図る)
- ・接遇マナーの向上
(コミュニケーション論などの研修会の実施、キャッチフレーズの掲示)
- ・身体拘束の廃止
(多職種を交えての「身体拘束ゼロ会議」の実施、権利擁護など研修会の実施)



権利擁護について学びました



スピーチロックの研修会



今年のキャッチフレーズ

広報情報委員会

『やなせ苑の今を伝える』

私たちは、利用者さまやそのご家族、職員や関係団体に向けて発行する法人機関紙の企画編集を行っています。今までの伝統や既存のスタイルを大事にしつつ、変化を恐れぬチャレンジや読者の皆さまにより親しまれるような紙面づくりを意識して取り組んでいます。

- ・「ゆずりは」の発行(年6回)
(利用者さまの日常生活の様子や各部所の季節の行事や楽しい出来事、苑からのお知らせを掲載。
平成13年に創刊し、令和3年春には222号を発行しました。)
- ・「やなせの森」の発行(年2回)
(福祉や介護に関する情報やお役に立つ情報、法人の取り組みなどを掲載。やなせ苑開設当初から継続し、この秋には第53号を発行します。)



紙面構成を検討中



広報誌「やなせの森」



広報誌「ゆずりは」

認知症ケア向上委員会

『その人らしい生活の実現に向けて』

私たちは、利用者さま一人ひとりのその人らしい生活の実現を目指しています。利用者さまがどう感じているのかを考え、不安を取り除き、安心して納得した生活ができるよう、職員すべてが認知症を正しく理解していくことを目的に活動しています。

- ・認知症ケアに関する留意事項の伝達や、職員による技術的指導
- ・外部講師等による専門的知識や技術習得のための研修会の開催
(認知症疾患、ユマニチュード、タクティールケア等)
- ・認知症ケアに係る資格取得のための研修受講
(認知症介護実践者研修(実践者、リーダー)受講)
- ・チームケアとしての質・体制の強化
(委員を中心に各棟でのケアの実施と評価、検証結果の報告会の実施)



動画から実際の手法を学びます



手をさすり目を合わせて



懐かしい情景を思い浮かべて

リスクマネジメント委員会

『定着させよう安全意識・感染対策』

私たちは、介護事故や感染症への予防対策、発生した苦情への適切な対応の仕方など、利用者さまに安全な介護サービスを提供するために、以下について取り組んでいます。

- ・ヒヤリはっと、事案事故防止
(事案事故対応マニュアルの管理、事故防止や再発防止に向けての原因分析、危険因子の検討、事故防止に向けた研修会の実施)
- ・苦情対応
(苦情発生時の対応マニュアルの管理、サービス改善の検討、資質向上のための研修会の実施)
- ・感染症対策
(感染症の予防及び発生時等のマニュアルの管理、職員への情報提供と知識技術に関する研修会の実施)



感染時期の対応



危険予知トレーニング



手洗いチェックで汚れを確認

リハビリ福祉機器委員会

『最適な福祉用具の導入や環境を整備し、快適な生活を提供します』

私たちは、利用者さまの思いと残存機能を大切にし、できる限り自立した生活が継続できるよう、福祉機器の導入や環境整備を目指しています。また、褥瘡予防にも積極的に取り組んでいます。

- ・福祉用具の管理
(利用者さまの身体機能に合ったベッド、車いす、歩行器などの選定や修理・メンテナンスなどの福祉機器の管理)
- ・福祉機器や介護技術に関する知識や技術の習得のための職員研修会の開催
(ポジショニング、シーティング、介助補助具の使い方、褥瘡の予防、職員の腰痛予防)
- ・市立砺波総合病院によるリハビリ指導の受け入れ調整や実施
(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による専門的技術の研修)



負担の少ない介護技術を習得中



福祉機器の展示会に参加



体验型10分間研修

看取り介護委員会

『最期までその人らしく過ごしていただくために』

私たちは、利用者さまのこれまでの生活や想いを尊重し、人生の最期まで尊厳ある生活を支援するために、多職種との連携を図りながら、看取り介護の体制づくりを行っています。

看取り介護を、不安に感じたり特別なケアとして捉えたりするのではなく、日常のケアの延長であると考え、すべての職員が、利用者さまやご家族との日々の関わりを大切にするという意識が持てるようになることを目的として活動しています。

- ・看取り介護の体制づくり
 - (看取り介護の手引きの作成、静養室や家族宿泊室などの環境整備)
- ・日々の関わりの充実
 - (利用者さまに関する情報の共有、毎月の法話会、物故者追悼法要、仏壇の管理)
- ・職員の資質の向上と家族の理解を深めるための知識、技術等の習得
 - (新人職員研修会、外部講師等による苑内研修会の開催、外部研修会への参加及び情報交換)



嘱託医による看取りについての学習会



新人研修会



苑内法話会

食事口腔委員会

『利用者さまの“おいしい”を支えます』

私たちは、利用者さま一人ひとりが持つ噛む力を活かし、いつまでも口からおいしく安全に食べていたくことを目的として活動しています。

そのため「個人に適した口腔ケア」に努め、口腔機能の維持向上を目指しています。

また「一人ひとりに合った食事の提供」を行うために、栄養士や看護職員など含めた多職種が連携し、摂食状態の観察や評価から、食形態の調整、食事時の姿勢など経口維持に取り組んでいます。

- ・個人に適した口腔ケアの実施
 - (口腔ケアマニュアルの作成、義歯の名前入れ、歯科医による口腔ケア指導や歯科衛生士による歯科指導の受入れ調整)
- ・一人ひとりに合った食事の提供
 - (経口維持に関する知識や技術の勉強会、食事介助・摂食嚥下マニュアルの作成、家族参加の嚥下調整食体験研修会の実施)



『ミキサー食』『ソフト食』『ゼリー食』体験会



となみ野歯科による歯科指導



外部講師による口腔ケア勉強会

行事委員会

『明るく元気に生き生きと』

利用者さまが、日常生活の中で四季折々の良さを感じながら日々の生活に潤いを持ち、明るく元気に生き生きと過ごしてもらうとともに、行事等に参加することで心身の機能維持や他者との交流ができるよう、年間行事やボランティアの受け入れなどの活動を企画、実施しています。

- ・長寿のお祝い
 - (米寿を祝う敬老会、百歳のお祝い、長寿番付表の作成)
- ・外出ドライブ
 - (大型ショッピングセンターや市内飲食店での買い物・外食、チュークリップ公園、菖蒲祭り、菊祭り、コスモスウォッキング)
- ・地域との交流
 - (各行事等へのボランティアの参加、近隣の保育所や小学校行事等への参加)
- ・県内ボランティア団体の訪問等受け入れ
 - (民謡、歌謡、管弦楽、音楽療法など)



菊まつりへおでかけ



敬老会



民謡団体の踊りなども人気行事です

入浴排泄委員会

『安全・安心で気持ちの良い入浴の提供を すっきりと気持ちの良い排泄援助の提供を』

私たちは、利用者さまに安全に安心して入浴や排泄の支援を受けていただき、清潔で気持ちの良い毎日を過ごしていただくことを目的として活動しています。

- ・入浴
 - (身体状態に合った入浴方法の検討、浴室の環境整備や管理、機器等のメンテナンス、物品確認と補充)
- ・排泄
 - (個々に合った排泄時間や使用パット等の検討、個別の排泄事例をもとに改善点の検討、外部講師等による排泄関係の講習会の開催)



適切なパッド選びについて学んでいます



入浴タイム 会話も弾みます



浴室

やなせ苑ギャラリー



画名 野ぼとけ

作者 林 廣子

300

活動の紹介

四季のアルバム

研究レポート

やなせ苑の紹介記事



四季のアルバム

春



ひな祭りでは、ひな人形を飾り
甘いお菓子を頂きました。

やなせ苑は桜の花に囲まれます。ポカポカ日和に散歩は欠かせませんね。利用者の皆さんにも満開の笑みがみられます。八重桜が咲くと桜茶作りも始まります。



利用者の皆さんとコシヒカリの苗を植えています。
皆さんとても手際よく、体が覚えていましたね。



小学校や保育所の運動会を見学し、応援にも熱が入ります。

夏



毎年、七夕さまに願いをこめて…
「私達いつまでも元気でいましょうね」



盆前、仏具の掃除



苑内の畑で夏野菜を
育てて収穫します。



涼を感じるお菓子を作りました。



ごはんのお供に
つけもの作り

夏といえば恒例のスイカ割り、叩いて食べて暑さも吹っ飛びます。

四季のアルバム



やなせ苑まつり

やなせ苑まつりは、多くのボランティアや、地域の皆さんのご協力のおかげで毎年盛大に開催しています。



やなせ苑米の収穫



地区の敬老会に参加



防災訓練



各地区的秋祭り、獅子舞を披露しに来て下さるのを、利用者の皆さまも楽しみにしています。



防災訓練



物故者追悼法要は、年に一度実施しています。



2021年は大雪の年、利用者さまには大きな氷柱や雪だるまで、冬を感じてもらっています。



苑から見た雪景色



氷柱落とし



可愛い雪だるまにほっこり笑顔



氷柱で丈比べ 冷たさも忘れる



クリスマス会は、利用者さまと職員が一緒に楽しめる行事の一つですね。



成人式を迎えた職員は、晴れ姿を利用者の皆さまにもお披露目。とても喜んでくださいました。



お正月遊びの「福笑い」、カルタ取りや羽根つきにもチャレンジしています。



しめ縄づくりでは、昔を思い出しながら、真剣に取り組まれていました。



研究レポート

富山県老人福祉施設協議会では、施設職員の資質向上を目的として毎年研究レポートを募集し、コンクールが行われています。

当苑ではこれまで何度も応募を行い、優秀賞などを受賞したこともありました。ここでは、過去10年間に応募した中で、平成29年度と令和2年度の活動をテーマにしたレポートが最優秀賞に選ばれたので紹介します。

第30回 研究レポート《最優秀賞》

「他職種及び各委員会が支える、経口維持の取り組み～最期までその人らしく～」

統括栄養士 稲垣 珠紀
主任ケアマネ 蓮井菜実子
主任ケアマネ 高田由可子
管理栄養士 荒井 淳子

食事口腔委員会が中心となって他職種が連携し、日々取り組んでいる「食べる」ということについての取り組みをまとめた内容。最期まで経口摂取の方法を模索し、尊厳ある人生の実現を目指した各専門職の思いが結実した珠玉のレポート。



第33回 研究レポート《最優秀賞》

「10分間研修の取り組み～今こそ知恵を出し合い学び合おう～」

介護長 帰山 雅枝
主任ケアマネ 蓮井菜実子

やなせ苑内で令和元年より行われている10分間研修についてのレポート。

変則勤務の中でいかにして知識やスキル、経験を共有していくか、その時間をどう作っていくのか。その一つの答えとして、練馬区の老人ホームでの取り組みを参考に進めてきた新しい研修のスタイルは、確実にホームの業務に変革をもたらしました。

10分間研修の取り組み
～今こそ知恵を出し合い学び合おう～

月別参加者人数

期間	開催回数		参加延べ人数		1日平均参加人数	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2
単位	回数	回数	人	人	日平均人数	日平均人数
R1.7月	39	20	150	133	7.9	6.7
R1.8月	21	18	112	83	5.3	4.6
R1.9月	20	22	90	130	4.5	5.9
R1.10月	20	21	82	126	4.1	6
R1.11月	28	17	65	143	3.6	8.6
R1.12月	24	20	62	120	4.5	6
平均	18.7	19.7	93.7	122.5	5	6.2

10分間研修（開催回数・参加人数）比較



やなせ苑の紹介記事

やなせ苑は、数々の活動、取り組みを行ってきました。そして、それがマスコミなどのメディアに取り上げていただきました。

ここでは、そんなメディアに登場したやなせ苑の活動を紹介します。



2014年 8月

がんばる介護職員応援事業の一つとして、やなせ苑を舞台に介護のイメージアップCMが制作され、民放3局で放映されました。



2015年 3月

女性が輝く元気企業とやま賞を受賞した企業ということで、テレビ番組「こんにちは富山県です」の取材を受けました。



2015年 2月

イクメン・カジダン応援プロジェクトで、男性が仕事と家庭を両立するロールモデルとして当法人が紹介されました。



2016年 8月

富山県内に就職予定の学生さん向けに作った冊子に掲載されました。



2017年

2020年

県内の介護事業所で、いきいきと元気に活躍している中堅職員を紹介する「がんばりすと」に、掲載されました。



2020年 8月

とやま健康企業宣言STEP1の認定を受けたことから、KNBラジオに出演しました。

その他にも様々な取り組みなどを取材していただいております。



やなせ苑ギャラリー



画名 童詩

作者 石村 歌知子

300

資料

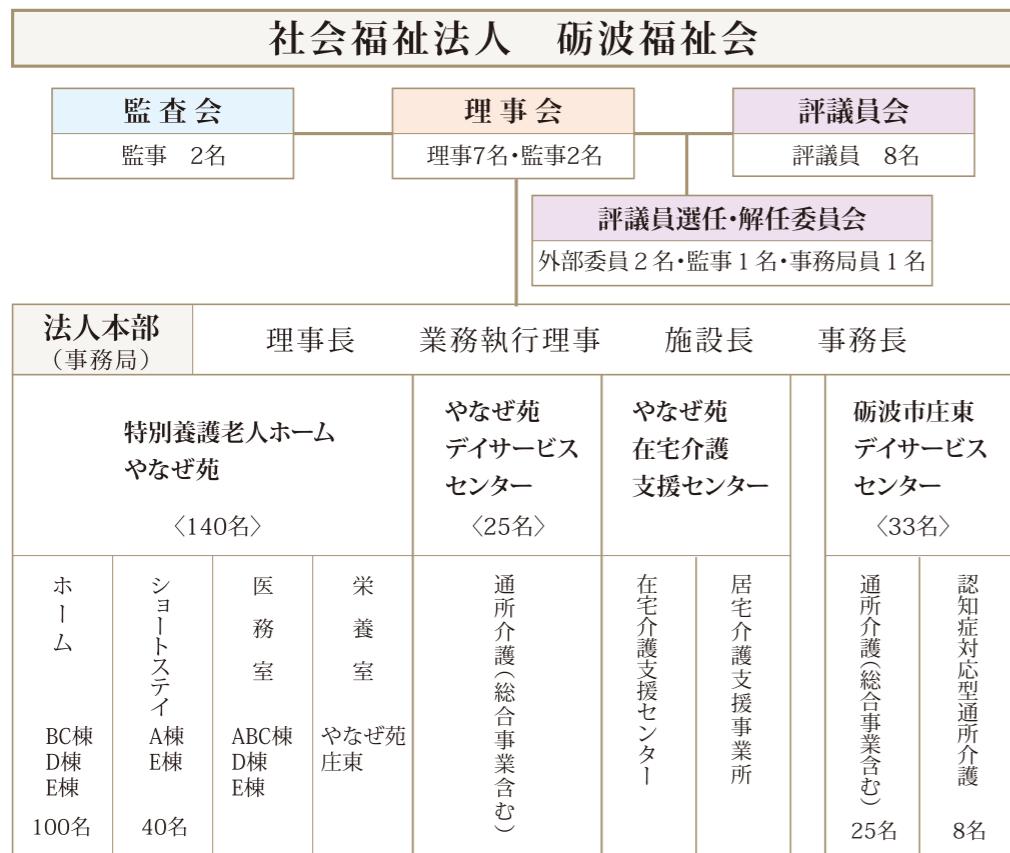
法人組織・歴代役職員
現役員・施設平面図
各種統計
編集後記



資料

(令和3年10月1日現在)

法人組織



歴代役職員

■理事長

初代	森	一也	平成 3年4月～平成13年3月
2代	加藤	清和	平成13年4月～平成24年3月
3代	太田	勇二	平成24年4月～平成26年6月
4代	老	健	平成26年6月～平成30年6月
5代	齊藤	和芳	平成30年6月～現在

■施設長

初代	尾柏	其文	平成 3年4月～平成8年 3月
2代	加藤	清和	平成 8年4月～平成13年3月
3代	中島	和之進	平成13年4月～平成16年3月
4代	古井	勝久	平成16年4月～平成17年8月 (平成17年8月から平成18年3月までは、事務長が施設長職務代理者)
5代	坪本	正樹	平成18年4月～平成21年3月
6代	安念	茂	平成21年4月～平成24年3月
7代	有若	隆	平成24年4月～平成25年2月
8代	架田	豊昭	平成25年3月～平成29年3月
9代	川合	邦之	平成29年4月～平成31年3月
10代	齊藤	幸二	平成31年4月～現在

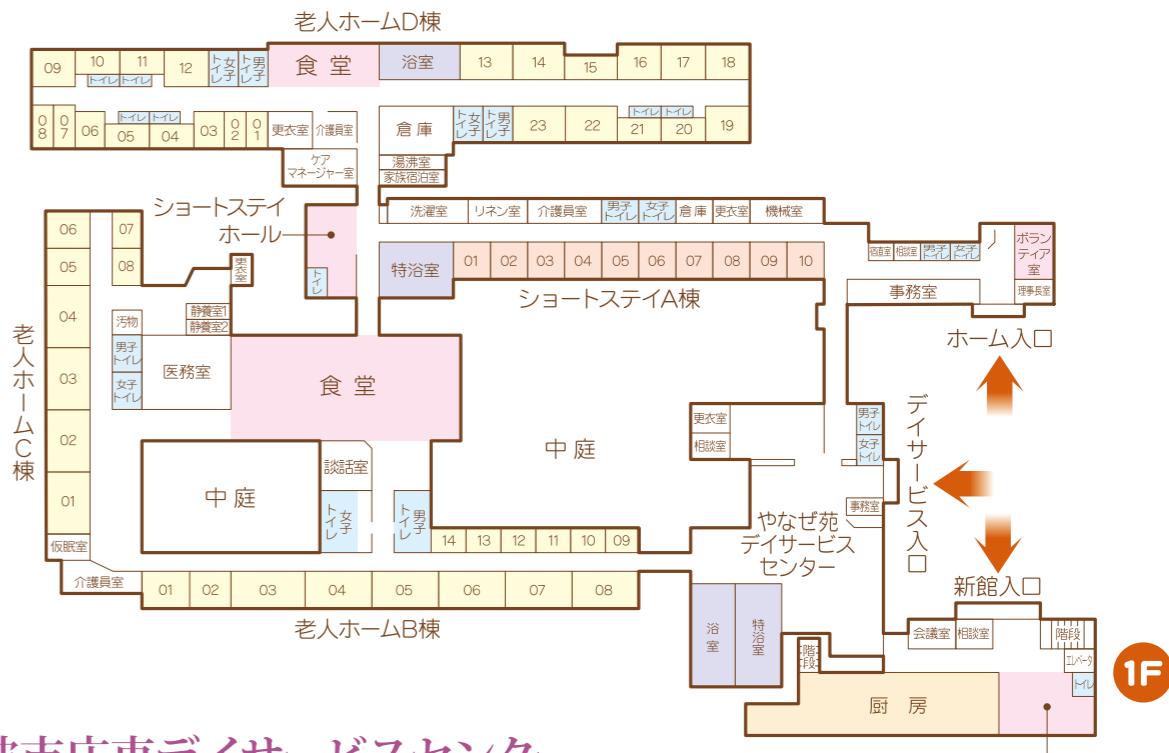
■嘱託医師

吉田	武雄	平成 3年 4月～平成20年 3月
永井	忠之	平成20年 4月～平成27年10月
佐藤	伸彦	平成27年11月～平成31年 3月
金木	昌弘	平成31年 4月～現在

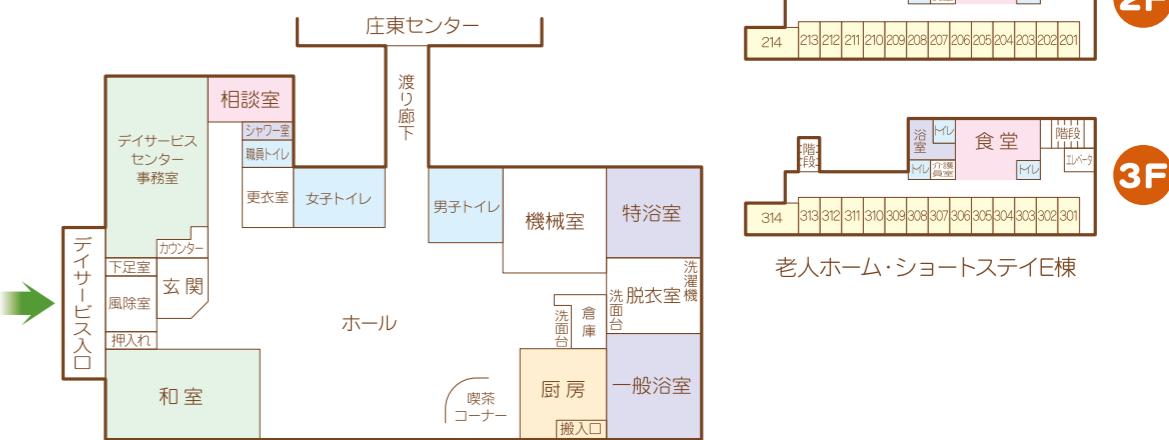
現役員

理 事 長	齊 藤 齊 藤	和 芳 幸 二	庄 下 中	永 井 耕 伸	舟 本 勇
業務執行理事					
理 事	小 森 兼 重	森 生 大			
監 事	森 今 藤 久 之	信 雄 弘 子	渡 辺 耕 一		
評 議 員	石 黒 柴 田 近 江	大 久 之 清	今 井 智 子 隆	清 澤 百 合 子	小 谷 喜 美 子
評議員選任・解任委員			中 島 昭 治	松 澤 光 隆	村 井 一 仁
				今 藤 久 之	高 島 淳 心

やなせ苑 平面図



砺波市庄東デイサービスセンター 平面図



各種統計

特別養護老人ホーム入所者利用状況

年 度	要介護度	1	2	3	4	5	新規入所者数	退所者数	平均要介護度	平均年齢
平成23年度	延べ利用人数	12	71	168	218	498	9	12	4.1	86.6
	延べ利用日数	366	2,166	5,011	6,466	14,962				
平成24年度	延べ利用人数	12	50	214	276	415	16	13	4	87.1
	延べ利用日数	365	1,521	6,345	8,043	12,434				
平成25年度	延べ利用人数	23	69	149	340	466	29	13	4.1	87.1
	延べ利用日数	700	2,063	4,244	10,125	13,825				
平成26年度	延べ利用人数	19	66	143	377	538	19	19	4.2	86.8
	延べ利用日数	566	1,992	4,192	11,153	15,934				
平成27年度	延べ利用人数	0	67	128	417	541	24	24	4.2	86.9
	延べ利用日数	0	2,035	3,826	12,203	15,876				
平成28年度	延べ利用人数	2	68	118	434	524	29	30	4.2	87.1
	延べ利用日数	59	2,070	3,512	12,776	15,276				
平成29年度	延べ利用人数	12	48	208	394	474	18	20	4.2	87.2
	延べ利用日数	306	1,428	6,221	11,851	14,461				
平成30年度	延べ利用人数	10	48	208	394	474	21	25	4.1	87.7
	延べ利用日数	306	1,428	6,221	11,851	14,461				
令和元年度	延べ利用人数	8	44	251	354	470	22	18	4.1	87.9
	延べ利用日数	231	1,342	7,612	10,682	14,250				
令和2年度	延べ利用人数	12	25	290	342	478	25	25	4.1	88.2
	延べ利用日数	365	762	8,576	10,214	14,224				

開設から令和3年3月31日までの入所者数603人、退所者数510人

※平成25年度 定員80人を新館増改築事業により段階的に増床し、12月に定員を96人とする。

※平成30年度 短期入所生活介護の4床を特別養護老人ホームに転床し定員を96人から100人とする。

短期入所生活介護利用状況

年 度	要介護度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	計
平成23年度	延べ利用人数	2	8	44	219	382	226	90	971
	延べ利用日数	4	18	132	1,075	2,036	1,856	563	5,684
平成24年度	延べ利用人数	4	17	142	257	254	200	76	950
	延べ利用日数	9	63	623	1,453	1,742	1,410	457	5,757
平成25年度	延べ利用人数	0	23	143	248	231	184	113	942
	延べ利用日数	0	89	867	1,380	1,570	1,435	761	6,102
平成26年度	延べ利用人数	13	35	145	361	354	203	135	1,246
	延べ利用日数	32	100	730	2,076	2,308	1,636	947	7,829
平成27年度	延べ利用人数	0	12	163	362	345	257	137	1,276
	延べ利用日数	0	35	917	1,944	2,791	2,632	979	9,298
平成28年度	延べ利用人数	4	9	195	403	298	250	91	1,250
	延べ利用日数	16	34	1,062	2,366	1,991	2,140	587	8,196
平成29年度	延べ利用人数	11	3	157	383	373	197	139	1,263
	延べ利用日数	43	10	773	2,376	2,944	1,503	1,035	8,684
平成30年度	延べ利用人数	1	3	147	253	298	168	114	984
	延べ利用日数	13	35	822	1,595	1,987	1,233	706	6,391
令和元年度	延べ利用人数	2	0	78	144	263	104	98	689
	延べ利用日数	7	0	384	817	1,553	752	711	4,224
令和2年度	延べ利用人数	0	3	46	125	250	101	76	601
	延べ利用日数	0	8	291	678	1,462	660	498	3,597

開設から令和3年3月31日までの延べ利用者数184,592人

※平成25年度 定員20人を新館増改築事業により段階的に増床し、12月に定員を44人とする。

※平成30年度 短期入所生活介護の4床を特別養護老人ホームに転床し定員を44人から40人とする。

やなせ苑デイサービスセンター利用状況

年 度	事 業	要介護度	要支援度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	障害	合 計
平成23年度	一般型	延べ利用人数		21	82	131	275	186	99	64	12	870
		延べ利用日数		85	633	837	2,138	1,470	699	379	43	6,284
平成24年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	34	58	61	39	8		200
		延べ利用日数		0	0	206	481	525	206	47		1,465
平成25年度	一般型	延べ利用人数		16	75	134	262	135	124	50	11	807
		延べ利用日数		63	590	988	2,286	966	1,117	318	33	6,361
平成26年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	23	59	66	5	17		170
		延べ利用日数		0	0	105	495	647	99	100		1,446
平成27年度	一般型	延べ利用人数		15	55	120	270	159	115	59	0	793
		延べ利用日数		55	408	1,016	2,311	1,500	1,076	395	0	6,761
平成28年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	11	47	44	20	1		123
		延べ利用日数		0	0	74	313	298	332	9		1,026
平成29年度	一般型	延べ利用人数		19	56	204	300	156	101	52	2	890
		延べ利用日数		74	364	1,449	2,322	1,324	1,194	392	8	7,127
令和元年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	26	45	43	24	4		142
		延べ利用日数		0	0	281	328	331	308	15		1,263
令和2年度	一般型	延べ利用人数		8	47	252	274	161	126	51	1	920
		延べ利用日数		35	314	1,792	2,043	1,232	1,225	464	4	7,109
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	12	36	65	28	8		149
		延べ利用日数		0	0	118	213	526	349	31		1,237
令和2年度	一般型	延べ利用人数		12	63	253	233	168	120	43	0	892
		延べ利用日数		43	381	1,737	1,848	1,256	1,089	381	0	6,735
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	9	59	42	40	9		159
		延べ利用日数		0	0	37	488	268	420	27		1,240
令和2年度	一般型	延べ利用人数		18	52	229	225	159	77	65	0	825
		延べ利用日数		70	316	1,468	1,802	1,246	575	533	0	6,010
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	25	47	36	24	28		160
		延べ利用日数		0	0	207	443	367	264	143		1,424
令和2年度	一般型	延べ利用人数		25	38	191	149	182	50	69	0	704
		延べ利用日数		143	256	1,342	937	1,495	363	489	0	5,025
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数									0	0
		延べ利用日数									0	0
令和2年度	一般型	延べ利用人数		27	42	130	175	131	27	35	0	567
		延べ利用日数		114	290	1,123	1,154	1,127	168	294	0	4,270
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数									0	0
		延べ利用日数									0	0
令和2年度	一般型	延べ利用人数		12	45	101	161	145	63	36	0	563
		延べ利用日数		49	281	852	1,319	1,210	484	270	0	4,465
令和2年度	認知症対応型	延べ利用人数									0	0
		延べ利用日数									0	0

開設から令和3年3月31日までの延べ利用者数 198,783人

※平成24年度 一般型利用定員を32人から30人とする。

※平成30年度 一般型利用定員を30人から25人とし、認知症対応型定員8人を休止する。

※ 土曜日の営業を中止。

砺波市庄東デイサービスセンター利用状況

年 度	事 業	要介護度	要支援度	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	障害	合 計
平成23年度	一般型	延べ利用人数		51	126	175	279	116	82	77	18	924
		延べ利用日数		202	771	1,185	2,191	1,023	553	447	84	6,456
平成24年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	15	84	57	29	8		193
		延べ利用日数		0	0	64	647	587	245	49		1,592
平成24年度	一般型	延べ利用人数		38	138	196	277	129	36	75	10	899
		延べ利用日数		145	866	1,418	2,340	1,075	324	476	69	6,713
平成25年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	30	67	31	4	8		140
		延べ利用日数		0	0	105	579	261	38	86		1,069
平成25年度	一般型	延べ利用人数		15	55	120	270	159	115	59	12	805
		延べ利用日数		55	408	1,016	2,311	1,500	1,076	395	97	6,858
平成26年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	11	47	44	20	1		123
		延べ利用日数		0	0	74	313	298	332	9		1,026
平成26年度	一般型	延べ利用人数		53	94	244	200	117	114	56	13	891
		延べ利用日数		211	625	1,622	1,945	1,208	1,140	306	96	7,153
平成27年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	22	68	46	14	29		179
		延べ利用日数		0	0	133	506	255	70	194		1,158
平成27年度	一般型	延べ利用人数		27	79	296	182	152	144	40	13	933
		延べ利用日数		104	432	2,096	1,461	1,518	1,360	300	78	7,349
平成28年度	認知症対応型	延べ利用人数		0	0	26	76	48	7	34		191
		延べ利用日数		0	0							

資料

砺波市やなせ苑在宅介護支援センター

■在宅介護支援センター事業

■居宅介護支援事業

区分	高齢者状態把握訪問(回数)	介護者・介護予防教室、出前講座	居宅サービス年間給付管理数(件)	総合相談件数(件)
平成23年度	260	11	1,722	12,641
平成24年度	290	12	1,743	12,184
平成25年度	408	15	1,899	15,041
平成26年度	380	15	2,001	16,186
平成27年度	374	14	1,905	15,164
平成28年度	426	15	1,787	13,299
平成29年度	364	17	1,902	16,109
平成30年度	345	16	1,827	16,955
令和元年度	259	19	1,807	17,407
令和2年度	226	8 ※1	1,892	19,369

平成22年度 介護者・介護予防教室を開始。

平成27年度 地域の活動の場に出向くことに力を入れ出前講座を積極的に行う。

平成30年度 支援センター事業に新たに地域包括サブセンターモデル事業が加わる。

※1 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い出前講座の依頼が減少する。

編集後記

やなせ苑開設30周年記念誌の作成にあたり、5月に最初の記念誌編集委員会を開催しました。その中で皆さんにお願いしたことは、「利用者さまや職員を含めてできるだけ多くの写真を掲載したい。また、写真には必ずコメントをつけて分かりやすくしたい」でした。会議を重ねながらやなせ苑が歩んだ30年間を振り返り、各委員が集めた資料の中には、昔懐かしい写真や楽しそうな行事の記録が数多くありました。時には、思わず手を止め、昔話に花が咲く場面もありました。また、写真はほとんどデータとして残っていましたが、整理されておらず、あまりにも膨大な量に選び出すのに大変苦労しました。

残念ながら今はコロナ禍により外出や行事へのボランティアの参加が極端に減りましたが、目に見えない新型コロナウイルスによって、私たちは大切なことに気づかされました。

それは、やなせ苑がこの30年間にどれだけ多くの人の接觸（ふれあい）によって支えられ成り立っていたのか、ということでした。人の接觸を控えなければならない今だからこそ、「やなせ苑」がモットーとしてきた「おたがいさま」と「おかげさま」という心のふれあいが必要であると改めて感じました。

さらにこれからも、これまで利用者さまをはじめご家族さま、ボランティア、地域住民、職員がともに歩み、積み重ねてきた経験と絆を大切にして、人口減少で少子高齢化、生産年齢人口が減少していく新たな時代に向けて、これまで以上に安全で安心したサービスを提供していかなければなりません。

最後に、この記念誌が無事に発行できましたのも、ひとえに皆様のあたたかいご支援、ご協力のおかげさまで深く感謝申し上げます。

これからも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

委員長 高島 淳心

開設30周年記念誌編集委員会

委員長	高島 淳心
副委員長	寺脇美智代 水木 淳司
委員	石川 亜美 岸川 香 子浦 芳 高田由可子 谷内美智代 長久 寛 林 克憲 松井 紀子 宮木 和代 安田奈津美

やなせ苑開設30周年記念誌 歩みVol.3 新たな時代に向けて

発行日 令和3年10月1日

発行責任者 特別養護老人ホームやなせ苑

施設長 斎藤 幸二

〒939-1313 富山県砺波市柳瀬3番地

TEL 0763-32-3050 FAX 0763-32-6543

印刷所 ジェイエスコーポレーション株式会社

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-9-24日本海ビル2階

TEL 0763-33-0101 FAX 0763-33-0218